

## 平成21年12月期 第3四半期決算短信

平成21年11月11日

上場取引所 JQ

上場会社名 コスモ・バイオ株式会社  
 コード番号 3386 URL <http://www.cosmobio.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 笠松 敏明  
 (氏名) 田中 知

TEL 03-5632-9600

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年12月期第3四半期の連結業績(平成21年1月1日～平成21年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第3四半期	3,979	—	383	—	385	—	240	—
20年12月期第3四半期	4,224	△3.9	370	△22.7	373	△5.4	△73	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
21年12月期第3四半期	3,975.58	—
20年12月期第3四半期	△1,218.19	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
21年12月期第3四半期	5,415	4,380	80.9	72,432.44
20年12月期	5,194	4,184	80.6	69,195.75

(参考) 自己資本 21年12月期第3四半期 4,380百万円 20年12月期 4,184百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
20年12月期	—	0.00	—	1,100.00	1,100.00
21年12月期	—	0.00	—	—	—
21年12月期(予想)	—	—	—	1,200.00	1,200.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	5,339	△5.0	381	△14.9	409	△11.9	251	140.4	4,157.77

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等 4. その他】をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等 4. その他】をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年12月期第3四半期 60,480株 20年12月期 60,480株

② 期末自己株式数 21年12月期第3四半期 一株 20年12月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年12月期第3四半期 60,480株 20年12月期第3四半期 60,480株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】をご覧ください。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるバイオ研究支援市場につきましては、民間企業の研究開発活動は引き続き堅調ですが、大学関係では予算執行等の盛り上がりには欠け、全体としては引き続き弱い動向でありました。一方為替レートは第3四半期連結累計期間平均95円/ドル（今期計画100円/ドル）でありました。

このような環境下、当社は新規仕入先・商品の開拓、プロモーション及び販売促進に努め、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,979百万円となりました。

利益面では、当社主力のバイオ研究用試薬は大半が輸入品のため、上記のとおり為替レートが円高傾向で推移したことを主因に、仕入原価が当初計画よりも減少し、売上総利益は1,625百万円、売上総利益率は40.8%となりました。また、販売管理費等の抑制に努め営業利益は383百万円、経常利益は385百万円、四半期純利益は240百万円となりました。なお、棚卸資産の評価に関する会計基準を適用したことにより、当期より、従来は営業外費用に計上しておりましたたな卸資産廃棄損は売上原価に含まれております。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が388百万円になったこと及び売上債権が減少したことを主因に、697百万円の収入となりました。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、資金運用を目的とした投資有価証券の購入を行ったことを主因に、567百万円の支出となりました。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により66百万円の支出となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ59百万円増加して1,265百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年8月3日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

### 4. その他

#### （1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

#### （2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を省略し前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

##### ②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

##### ④税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

#### （3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### ①「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に

関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日 内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を適用しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。また、これに伴って従来営業外費用に計上していた「たな卸資産廃棄損」は、第1四半期連結会計期間から売上原価に計上しています。この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間の売上総利益及び営業利益は57百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,064	1,005
受取手形及び売掛金	1,450	1,728
有価証券	829	600
商品	410	444
半製品	1	1
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	16	39
その他	81	108
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	3,855	3,927
固定資産		
有形固定資産	52	52
無形固定資産		
のれん	66	80
その他	118	100
無形固定資産合計	184	180
投資その他の資産		
投資有価証券	714	432
関係会社株式	323	304
その他	285	296
投資その他の資産合計	1,323	1,034
固定資産合計	1,560	1,267
資産合計	5,415	5,194

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	370	405
短期借入金	20	20
未払法人税等	107	0
その他	217	240
流動負債合計	714	666
固定負債		
退職給付引当金	157	149
役員退職慰労引当金	109	94
その他	53	98
固定負債合計	320	343
負債合計	1,034	1,009
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	918	918
資本剰余金	1,221	1,221
利益剰余金	2,326	2,152
株主資本合計	4,466	4,292
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△0	0
繰延ヘッジ損益	△85	△108
評価・換算差額等合計	△86	△108
純資産合計	4,380	4,184
負債純資産合計	5,415	5,194

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)
売上高	3,979
売上原価	2,354
売上総利益	1,625
販売費及び一般管理費	1,241
営業利益	383
営業外収益	
受取利息	9
受取配当金	0
持分法による投資利益	35
その他	8
営業外収益合計	52
営業外費用	
支払利息	0
その他	50
営業外費用合計	50
経常利益	385
特別利益	
固定資産売却益	0
保険解約返戻金	3
その他	0
特別利益合計	4
特別損失	
固定資産除却損	1
特別損失合計	1
税金等調整前四半期純利益	388
法人税等	148
四半期純利益	240

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3 四半期連結累計期間  
(自 平成21年1月1日  
至 平成21年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	388
減価償却費	29
のれん償却額	14
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8
受取利息及び受取配当金	△9
支払利息	0
固定資産除却損	1
為替差損益 (△は益)	4
持分法による投資損益 (△は益)	△35
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	278
たな卸資産の増減額 (△は増加)	55
仕入債務の増減額 (△は減少)	△34
その他	2
小計	718
利息及び配当金の受取額	24
利息の支払額	△0
法人税等の支払額	△45
営業活動によるキャッシュ・フロー	697
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△200
有価証券の売却及び償還による収入	200
投資有価証券の取得による支出	△531
有形固定資産の取得による支出	△5
有形固定資産の売却による収入	0
無形固定資産の取得による支出	△24
無形固定資産の売却による収入	0
その他	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△567
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	59
現金及び現金同等物の期首残高	1,206
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,265

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日 内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号のただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則を適用しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当社グループはバイオ研究関連の販売及び一部製造を事業の内容としており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

本邦の売上高は、連結売上高に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前年同四半期に係る財務諸表等

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成20年1月1日～平成20年9月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年12月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	4,224
II 売上原価	2,562
売上総利益	1,662
III 販売費及び一般管理費	1,292
営業利益	370
IV 営業外収益	77
V 営業外費用	74
経常利益	373
VI 特別利益	0
VII 特別損失	281
税金等調整前四半期純利益	92
法人税、住民税及び事業税	178
法人税等調整額	△12
四半期純利益	△73

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成20年1月1日～平成20年9月30日)

	前年同四半期 (平成20年12月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	92
減価償却費	26
のれん減損損失	281
のれん償却額	30
デリバティブ評価損益(△は益)	7
貸倒引当金増減額(△は減少)	0
役員退職慰労引当金増減額(△は減少)	11
退職給付引当金増減額(△は減少)	17
受取利息及び受取配当金	△9
持分法による投資損益(△は益)	△29
売上債権の増減額(△は増加)	341
たな卸資産増減額(△は増加)	△3
仕入債務の増減額(△は減少)	△134
未払金の増減額(△は減少)	90
その他	△24
小計	697
利息及び配当金の受取額	31
利息の支払額	△0
法人税等の支払額	△212
営業活動によるキャッシュ・フロー	515
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
貸付による支出	△5
有価証券の売却・償還による収入	300
投資有価証券の取得による支出	△267
投資有価証券売却による収入	5
関係会社株式の取得による支出	△10
有形固定資産の取得による支出	△15
無形固定資産の取得による支出	△57
その他	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△57
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
配当金支払額	△151
財務活動によるキャッシュ・フロー	△151
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△1
<b>V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)</b>	306
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	719
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	1,025

6. その他の情報

該当事項はありません。